

長野県の金融経済動向

(2021年2月15日)

【概況】

長野県経済は、厳しい状況が続いているものの、持ち直しつつある。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。住宅投資は下げ止まっている。公共投資は緩やかに増加している。

この間、生産は持ち直している。雇用・所得は弱めの動きが続いている。

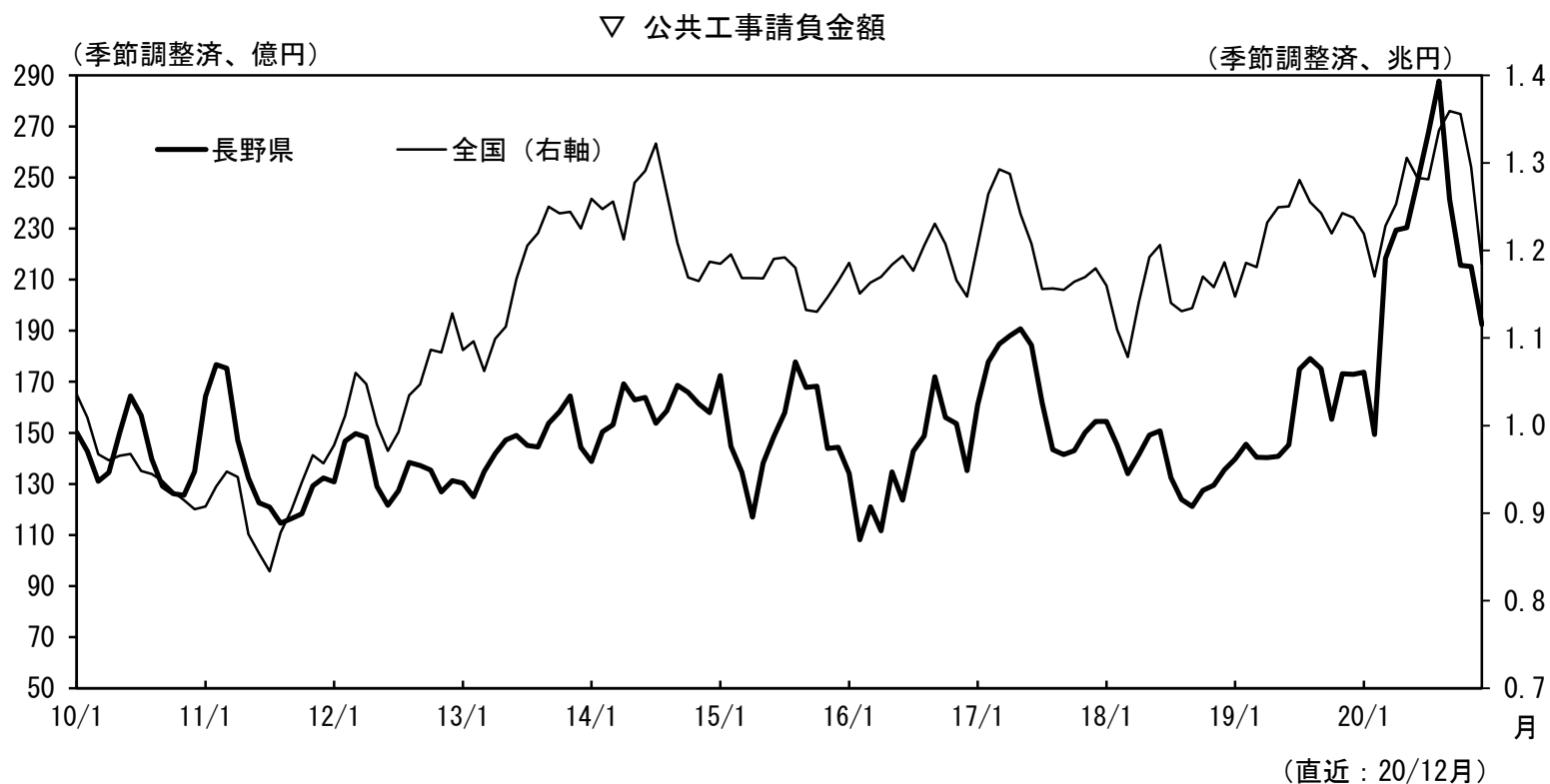
【前回からの変化】

20/12月	21/2月
<p>長野県経済は、厳しい状況が続いているものの、持ち直しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は増加している。 ・個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。 ・住宅投資は弱めの動きとなっている。 ・公共投資は増加している。 <p>・生産は持ち直しの動きがみられる。</p> <p>・雇用・所得は弱めの動きが続いている。</p>	<p>長野県経済は、厳しい状況が続いているものの、持ち直しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は増加している。 ・個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。 ・<u>住宅投資は下げ止まっている。</u> ・<u>公共投資は緩やかに増加している。</u> <p>・<u>生産は持ち直している。</u></p> <p>・雇用・所得は弱めの動きが続いている。</p>

1. 実体経済

公共投資

公共投資は緩やかに増加している。



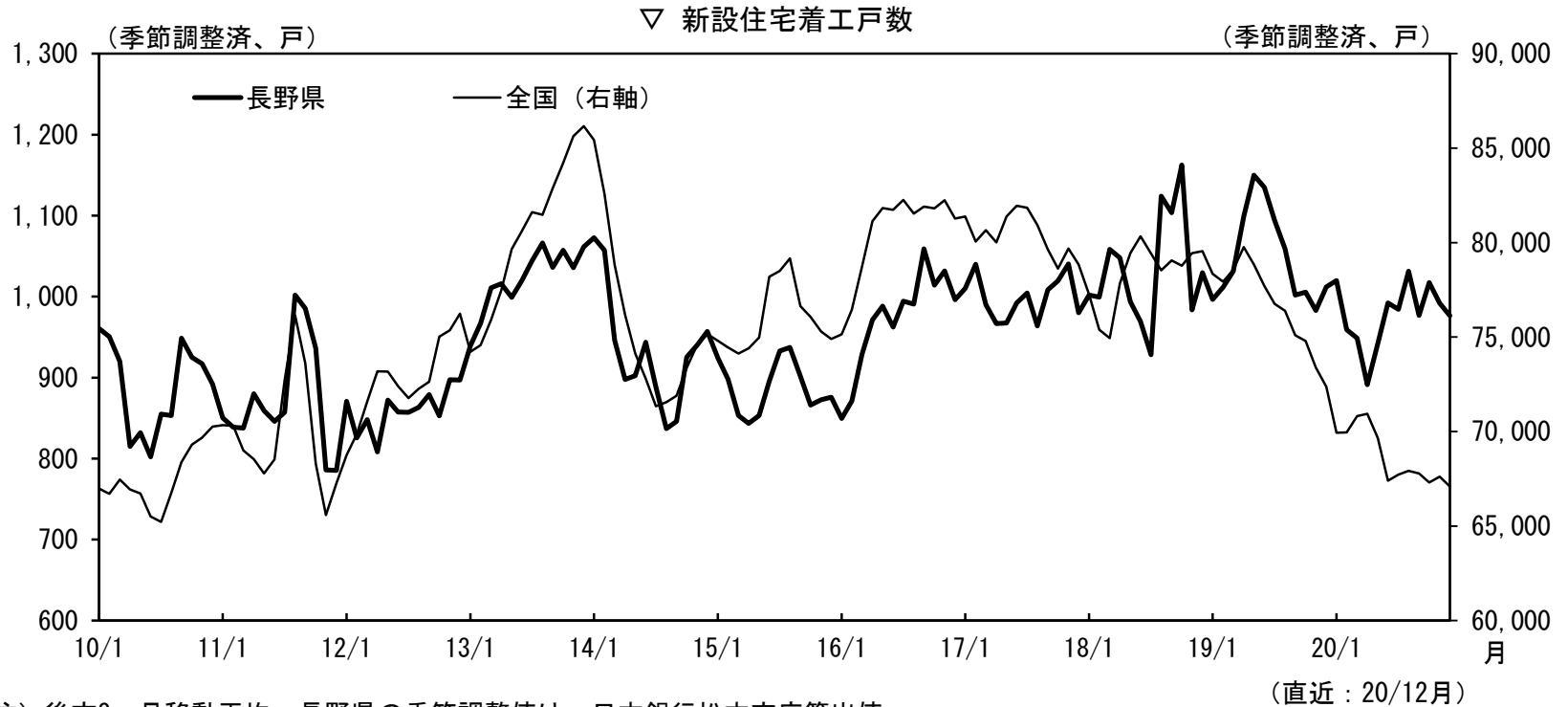
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は下げ止まっている。



1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、20年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

企業収益は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 0.4	15.8
非製造業	8.5	- 2.7
全産業	1.1	12.4

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 8.9	- 1.9

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 65.6	- 30.1
非製造業	- 11.7	- 25.7
全産業	- 53.7	- 28.2

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	0.9	- 3.1
非製造業	- 1.5	- 4.5
全産業	- 0.6	- 3.9

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業 <大企業>	- 5.9	- 10.9

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度	20年度 計画
製造業	- 15.9	- 27.5
非製造業	- 5.1	- 40.2
全産業	- 9.6	- 35.3

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(20/12月)」

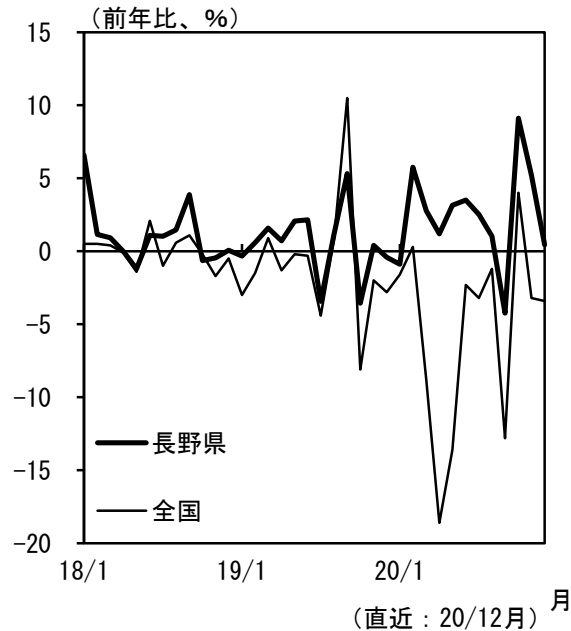
1. 実体経済

個人消費

個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。

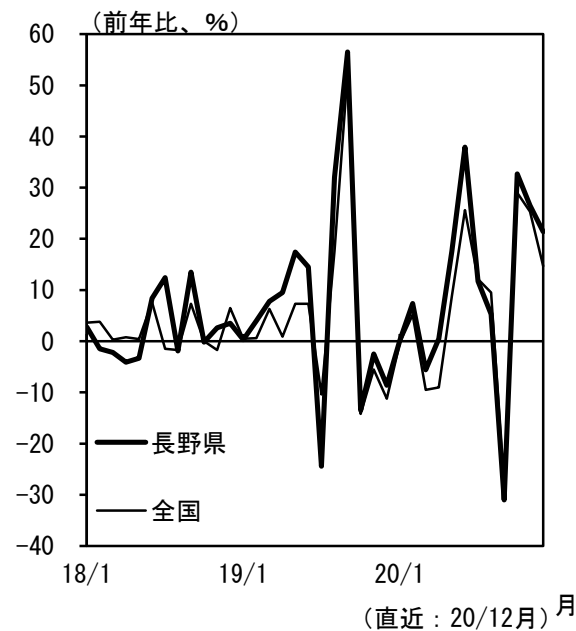
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。家電販売額は、底堅く推移している。新車登録台数は、持ち直しつつある。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



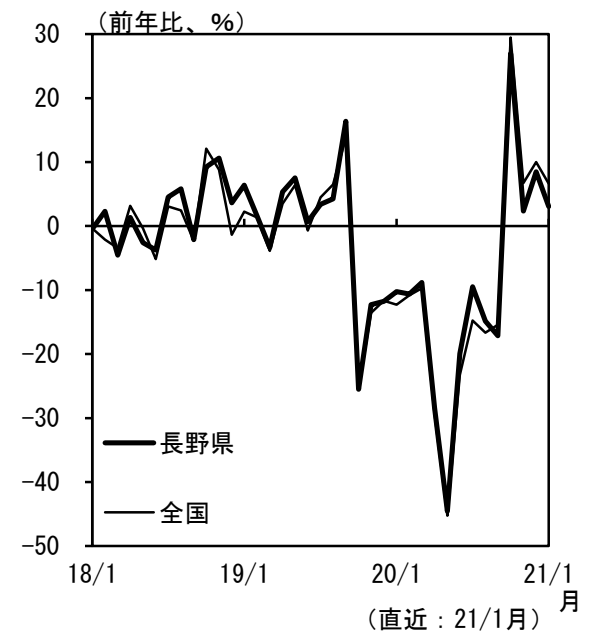
(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

▽ 新車登録台数



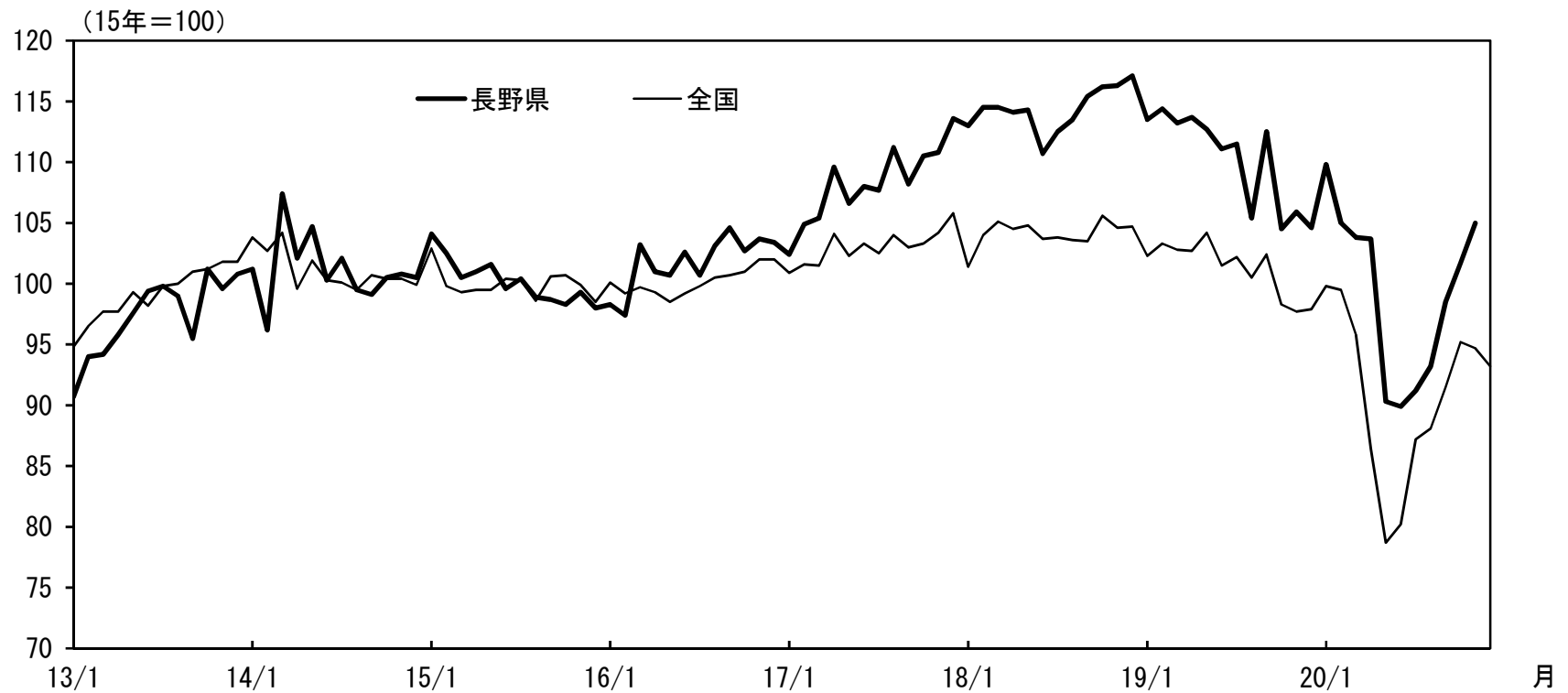
(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

1. 実体経済

生産

生産は持ち直している。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



(出所) 経済産業省、長野県「鉱工業指数」

(直近：長野県=20/11月、全国=20/12月)

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等では、IT関連財や自動車向けを中心に、生産は増加している。

自動車関連では、生産は持ち直しの動きが続いている。

機械・同関連部品等では、バルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。工作機械では自動車関連需要の持ち直し等、計器では半導体関連需要の持ち直し等を受け、生産は下げ止まっている。成形機では、消費関連需要の持ち直し等を受け、生産は持ち直している。

飲料では、弱含んでいる。

【前回からの変化】

20/12月	21/2月
<p>半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が回復するもとで、生産は持ち直しつつある。</p> <p>自動車関連では、生産は持ち直している。</p> <p>機械・同関連部品等では、計器やバルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機では消費関連需要の持ち直し等、工作機械では自動車関連需要の持ち直し等を受け、生産は下げ止まっている。</p> <p>飲料では、弱含んでいる。</p>	<p><u>半導体関連・電子部品等では、IT関連財や自動車向けを中心に、生産は増加している。</u></p> <p><u>自動車関連では、生産は持ち直しの動きが続いている。</u></p> <p>機械・同関連部品等では、バルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。工作機械では自動車関連需要の持ち直し等、計器では半導体関連需要の持ち直し等を受け、<u>生産は下げ止まっている。成形機では、消費関連需要の持ち直し等を受け、生産は持ち直している。</u></p> <p>飲料では、弱含んでいる。</p>

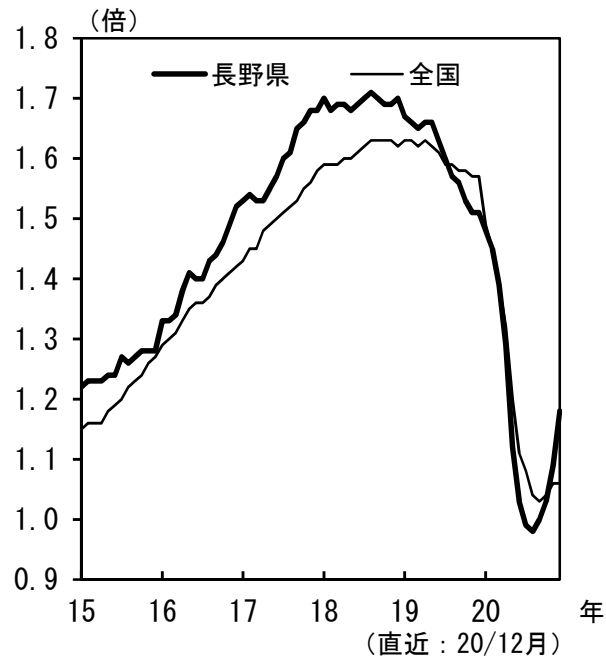
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は弱めの動きが続いている。

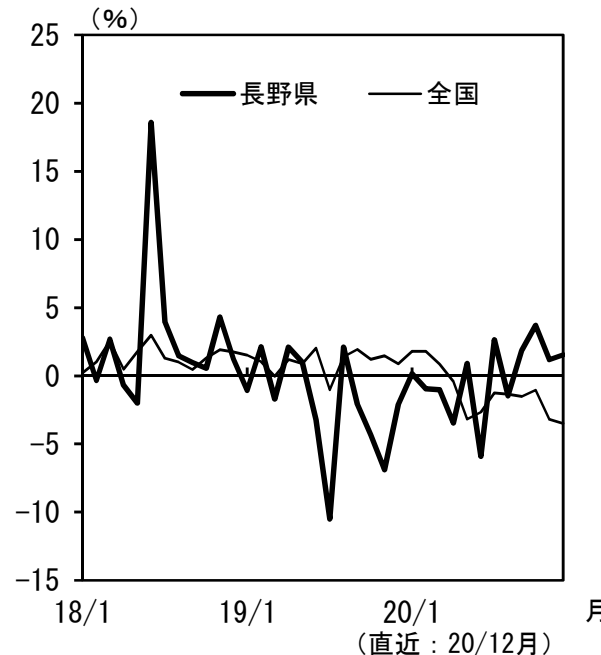
有効求人倍率は、下げ止まっている。雇用者所得は、弱めの動きが続いている。就業者数は、横ばい圏内で推移している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



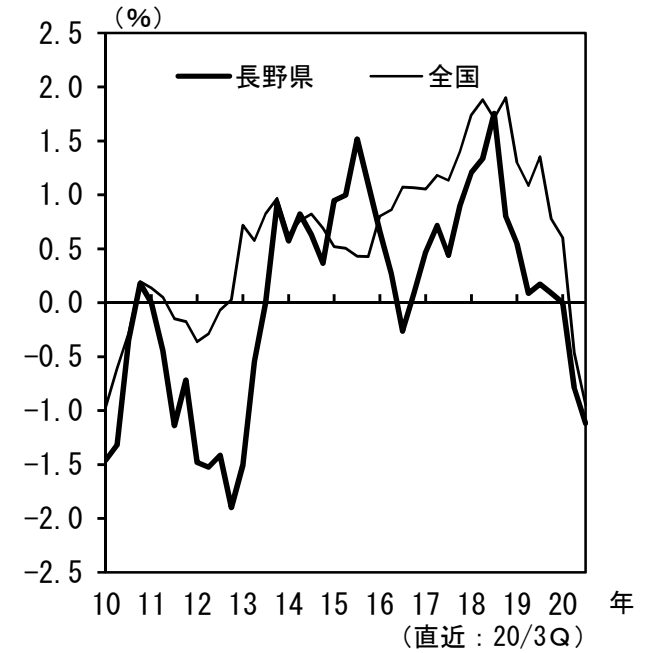
(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。
(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

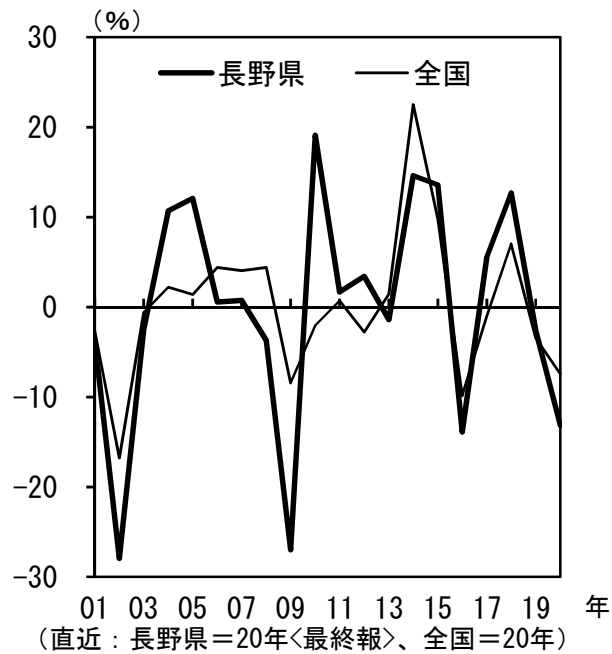


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

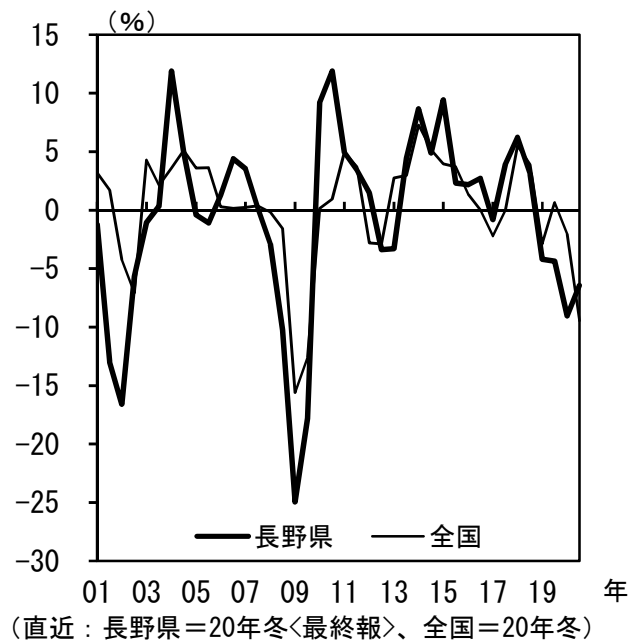
雇用・所得

▽ 平均賃上妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県
 「春季賃上げ要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

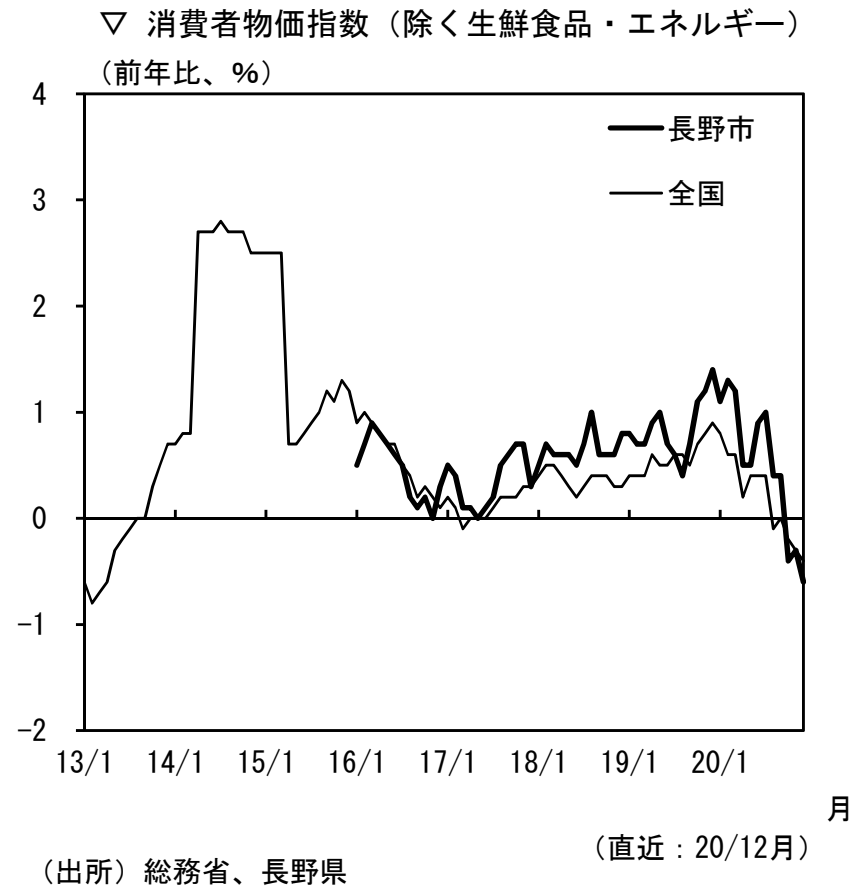
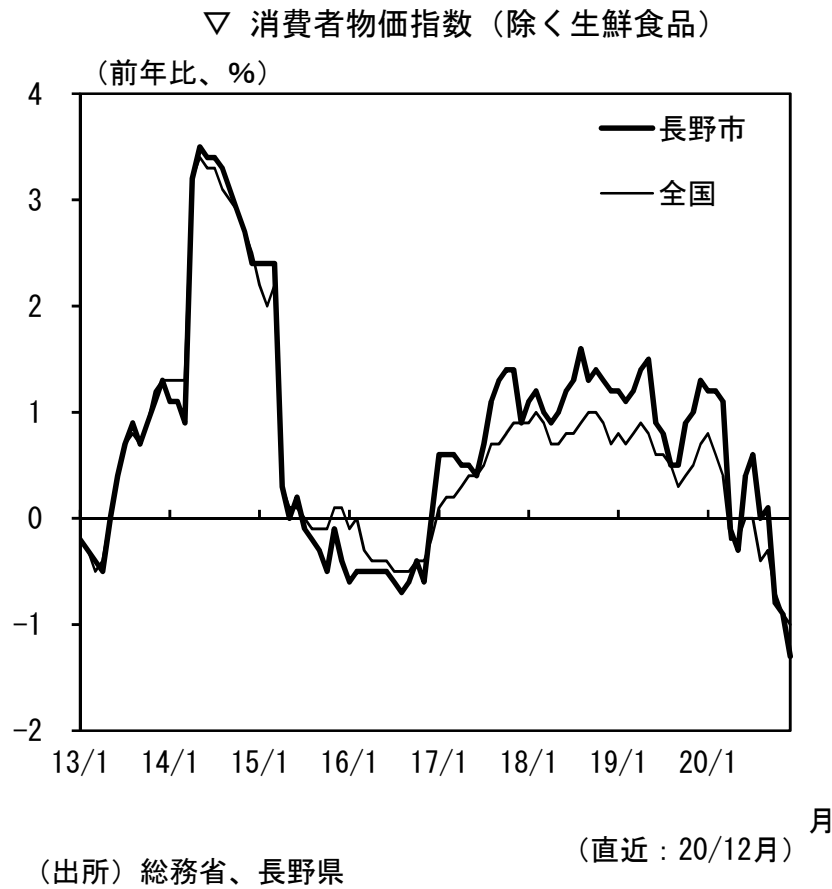


(出所) 長野県：長野県
 「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、20/12月は前年を下回っている。

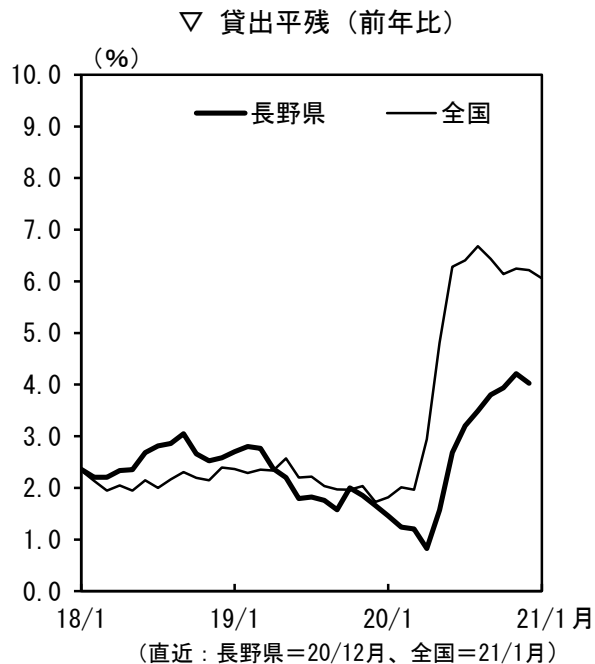


2. 金融

貸出金・預金

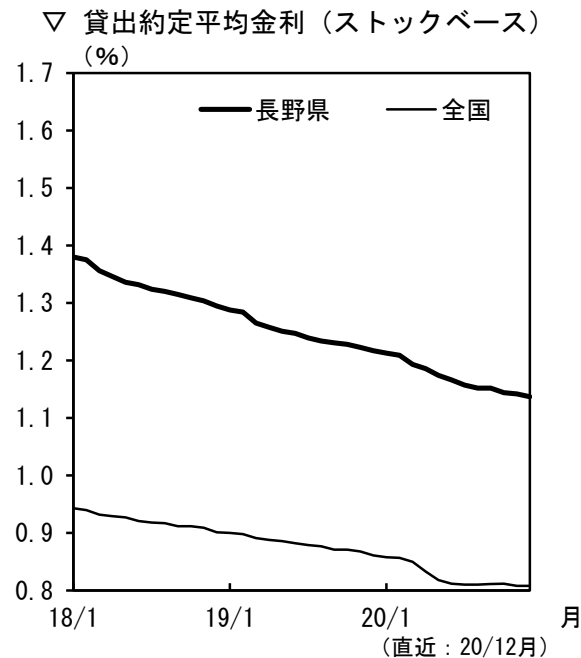
貸出金は、前年比で4%台のプラスとなっている。法人向けは、運転資金を中心に増加している。個人向けは、住宅ローンを中心に緩やかに増加している。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。

預金は、法人預金や個人預金の増加を主因に前年比で8%台のプラスとなっている。



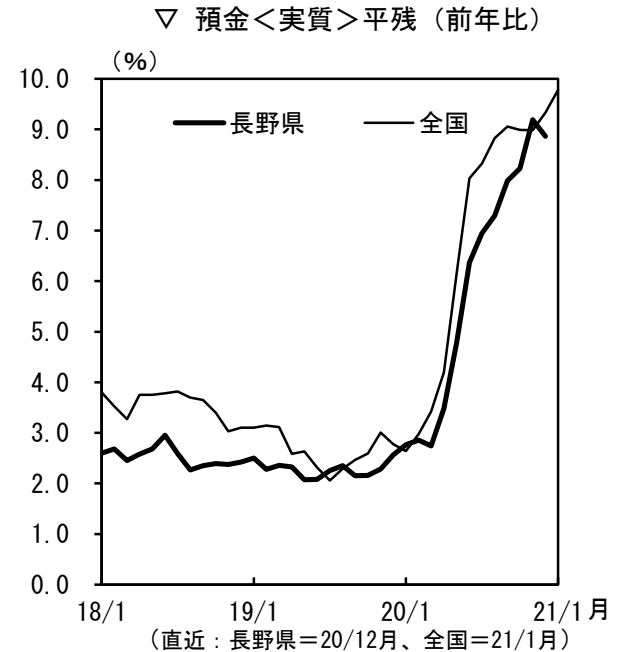
(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+①）。

・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行